

塩谷郡市医師会だより

Contents

- 1 第78回定時総会報告
- 2 第1回理事会報告
- 3 年間行事予定・学術講演会予定
- 4 学術講演会報告
- 5 新入会員紹介・会員投稿

Vol. 97

一般社団法人 塩谷郡市医師会
広報委員会

〒329-1312

さくら市桜野1319番地3

さくら市氏家保健センター内

TEL 028(682)3518

FAX 028(682)5760

◆第78回塩谷郡市医師会定時総会報告

令和7年4月19日(土)さくら市氏家保健センターで第78回定時総会が開催された。定時総会の前に栃木県医師連盟塩谷郡市支部の総会も開催され、令和6年度決算、令和7年度予算について決議された。

定時総会は定款により選出された北條議長により議事が進められた。医師会員数91名中出席18名、委任状出席41名、計59名の出席で定足数充足が確認されたことにより第78回定時総会の成立が告げられた。

議事に入る前に、令和6年度お亡くなりになった植木雅人先生、久内徹先生、廣木昭彦先生方の冥福をお祈りして黙禱がさげられた。

最初に阿久津会長のあいさつの後に、佐藤副会長より理事会、総務会、各委員会活動などの会務報告があり、その後、議事に入った。



第1号議案「令和6年度塩谷郡市医師会事業報告並びに収支決算の承認を求める件」

第2号議案「令和6年度塩谷郡市医師会貸借対照表及び損益計算書と各附属明細書の承認を求める件」

第3号報告事項「令和7年3月31日現在財産状況の報告について」

第4号報告事項「令和7年度塩谷郡市医師会事業計画並びに収支予算の報告について」

1～4号について花塚会計担当理事より説明と報告がなされた。続いて監査報告として松村監事より監査の結果について報告がなされた。採決の結果、可決承認された。

第5号議案「役員の新選任について」

理事定数について定款に基づき新たに理事を選任する旨の説明がなされ、大和田信雄先生と佐藤敦久先生が新理事に選任することが承認された。

第6号議案「感染症対策委員会に予防接種部会を設置する件」

感染症対策委員会に新たに予防接種部会の新設経緯について説明がなされた。採決の結果、設置が承認された。

第7号議案 その他

提案・質疑事項なし

◆第1回理事会報告

出席者：阿久津会長、佐藤副会長、村井副会長、花塚会計担当理事、村井理事、仲嶋理事、高橋理事、佐藤敦久理事、手塚理事

令和7年5月20日(火)午後6時45分から阿久津会長が議長となり開催された。

- (1) 会長方針について
- (2) 令和7年度年間計画について
- (3) 塩谷郡市医師会 予防接種委員会の委員の選任について
- (4) 令和7年度地域保健活動推進協議会事業計画並びに予算の提出について
- (5) 栃木県からの委託事業について
- (6) その他

塩谷郡市医師会ホームページ/メール	広報委員会編集部
URL http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/ メール shioya@tochigi-med.or.jp	高橋 雄二・中嶋 義明・加藤 健・岡 一雄

塩谷郡市医師会行事予定

令和7年

- 4月19日(土) 第24回医師連盟通常総会
第78回塩谷郡市医師会定時総会
4月28日(月) 第1回「総務会」
5月10日(土) 5郡市医師会長懇談会
5月20日(火) 第1回「理事会」
7月11日(金) 納涼会(さくら市医師団)
8月19日(火) 第2回「総務会」
9月22日(月) 第2回「理事会」
10月04日(土) 郡市・大学医師会正副会長懇談会
10月26日(日) 第20回市民公開講座(矢板市)
12月07日(日) 第5回塩谷郡市医師会ゴルフコンペ

令和8年

- 1月09日(金) 新年会(高根沢町医師団)
2月10日(火) 第3回「総務会」
3月10日(火) 第3回「理事会」
4月18日(土) 第4回「理事会」
第25回医師連盟通常総会
第79回塩谷郡市医師会定時総会

学術講演会等予定

令和7年

- 5月13日(火) 糖尿病
6月12日(木) 産業医研修
6月17日(火) 高血圧症、高尿酸血症
7月15日(火) 認知症関連
9月09日(火) 消化器系
10月16日(木) 産業医研修
10月21日(火) 下部消化管
11月11日(火) COVID19 関連
12月09日(火) 感染症、抗生剤

令和8年

- 1月20日(火) 認知症関連
2月17日(火) 脂質異常、糖尿病

注: 日程やテーマなどを変更する場合があります。
(5月末現在)

学術講演会 I

「慢性腎臓病治療の新たな展開」
～SGLT2 阻害薬を加えた標準治療と適切な血圧と
カリウム管理～

日時: 令和6年12月17日(火)
講師: 国際医療福祉大学塩谷病院
病院長 佐藤 敦久 先生



CKD 患者の増加が続いています。特に高齢者糖尿病
患者の増加に伴い末期腎機
能患者の増加が著しい。
今回は慢性腎臓病治療につ
いてご講演いただきました。

血圧管理: 血圧管理の目的は高血圧による腎障害の進
行を予防し、糸球体内圧の低下を図り過剰な過状態を
改善すること。塩分対策の上、ACE 阻害剤や ARB を高
用量で就寝前投与することが望ましい。

SGLT-2、MRA: 腎機能保護作用のある薬剤をなるべく
早期から投与すること。SGLT-2 は DAPA-CKD 試験
でも良好な結果が示されている。Initial-dip を確認し、
脱水症に注意し、可及的継続を図る。MRA はナトリウム
排泄を促すが高カリウム血症に注意。

カリウム吸着薬: 腎機能低下例では CKD 薬物治療に
より高カリウム血症をきたすリスクが高く対策が必要。
非ポリマー無機陽イオン交換化合物などを併用しカリ
ウム管理をしながら薬物治療を継続することが可能と
なった。

これからの CKD 診療に ACE/ARB、SGLT-2、MRA、
K 吸着薬が標準治療薬として期待されることをご教示
いただきました。(仲嶋 秀文)

学術講演会 II

「認知症診療のパラダイムシフト」
～予防から新規治療の現状について～
日時: 令和7年1月21日(火)

講師: 自治医科大学附属病院脳卒中センター
センター長 内科学講座神経内科学部門
教授 田中 亮太 先生



2025 年現在で MCI を合わ
せた認知症患者は高齢者の
約 27% (約 470 万人) に
上るとされております。
今まではコリンエステラー
ゼ阻害薬や NMDA 受容体

拮抗薬等の症状改善薬のみでしたが最近ではアルツハイマー病の原因であるアミロイドβ (Aβ) の沈着を改善する抗 Aβ 抗体薬の登場によりアルツハイマー病の進行が抑えられるようになってきました。

治療対象についても従来の薬が認知症を対象にしていたのに対し抗 Aβ 抗体薬は MCI に移行してきています。ただ、この治療には脳浮腫や脳出血といった副作用も見られており治療前に適応患者かどうかの詳細な検査や本人の意思確認などの課題も見られました。また、アミロイドβ の蓄積が発症の 20 年ほど前から始まっていることから中高年からの高血圧の改善や運動、禁煙が血管性認知症だけでなくアルツハイマー病の発症に予防効果がある事が示されました。

(佐藤 泉)

学術講演会Ⅲ

「最近の生活習慣病合併脂肪肝の治療 strategy」
～高脂血症と 2 型糖尿病を中心に～

日時：令和 7 年 2 月 18 日 (火)

講師：獨協医科大学 内科学 (内分泌代謝)
准教授 城島 輝雄 先生

世界の糖尿病人口は 4 億人といわれ 2040 年には 6 億人を超えると予想されている。糖尿病の治療は血管合併症を抑制することである。SGLT2 阻害薬はグルコースを体外に排泄し血糖の変動を改善、心配された脳卒中などは少ないことがわかってきた。一方中性脂肪は肝脂肪の増加と、血栓形成のリスクとなる PAI-1 など悪玉サイトカインを増やし心血管合併症を惹起するとされている。

脂肪肝は最近名称が変更され非アルコール性の脂肪肝は MASLD、MASH、アルコール性は ALD、アルコールとメタボが関与するものは MetALD、その他の原因別 SLD と分類されるようになった。脂肪肝の死因調査では肝がんは 5%程度で、心臓血管死が 43%を占めている。脂肪肝の治療はダイエットや運動、ビタミン E などとされ効果的な治療薬の開発が望まれている。甲状腺ホルモン受容体刺激薬レスメチロムの治療効果が報告されており、ベマフィブラートは中性脂肪を低下させ肝機能の改善効果が報告されている。糖尿病合併脂肪肝においては SGLT2 が肝臓の線維化を抑制することから脂肪肝への効果が期待されている。(阿久津 博美)



学術講演会Ⅳ

「イメグリミンの存在意義を考える」

日時：令和 7 年 5 月 13 日 (火)

講師：グリーンクリニック

院長 黒田 久元 先生

2 型糖尿病の薬物治療は、経口血糖降下剤、インスリン、さらには SGLT2 阻害薬や GLP1 受容体作動薬といった新規薬剤の導入により進歩を遂げてきた。この中でメトホルミンは第一選択薬として使用されてきたが、腎機能障害を有する患者では乳酸アシドーシスのリスクがあり、慎重な使用が求められてきた。

メトホルミンの誘導化合物の中で血糖降下作用を保持しつつ副作用を抑えた薬剤としてイメグリミンが開発された。イメグリミンはグルコース濃度依存性インスリン分泌促進作用に加えインスリン抵抗性改善作用により血糖降下作用を発揮する。NAMPT(NAD 合成酵素)とミトコンドリアを介した作用機序が想定されている。TIMES 試験では単独療法・併用療法のいずれにおいても有効性と安全性が確認された。腎機能障害患者でも用量調整し投与可能である。胃腸障害などの副作用を有する。今後の臨床・基礎研究により、さらに多くの患者に勧められる薬剤になることが期待される。(仲嶋 秀文)

◆新入会員紹介

※令和 7 年 4 月 1 日入会 (五十音順)



かるべ皮膚科小児科医院
軽部 大希 先生



黒須病院 整形外科
長田 伝重 先生



後藤医院
後藤 翔太郎 先生



にいたに内科
・糖尿病クリニック
二井谷 隆文 先生

会員投稿 ☆

◆「絶景かな絶景かな」を超える「絶景」です 上田医院 上田 明彦 (矢板市)

歌舞伎には「こいつあ春から縁起がいいわえ」などの名台詞がありますが、最もよく知られたものは「絶景かな絶景かな」という石川五右衛門のこの台詞でしょう。この「絶景かな」は夕日に映える満開の桜を京都南禅寺山門から眺めての台詞です。南禅寺近くに『蹴上げ』という桜の名所があり、ここの満開の桜は目を見張る美しさで南禅寺の絶景を超える絶景です。蹴上げには琵琶湖畔の天津から琵琶湖疎水を利用して約 1 時間の舟で来ることもでき「琵琶湖周航の歌」ゆかりの京大ボート部は琵琶湖疎水を利用して京都と滋賀の都(天津)を行き来していました。さて五右衛門辞世の句の「浜の真砂」は歌舞伎では間柴久吉(羽柴秀吉)と五右衛門との対時に使われています。歌舞伎の雰囲気味わいながら幕とします。久吉「石川や浜の真砂は尽くるとも」、五右衛門「やや!!」、久吉「世に盗人の種は尽くまじ」、五右衛門「なんとお〜」

◆恵心会・高根沢中央病院について

高根沢中央病院 青木 洋(高根沢町)

当院は、故 阿久津正之先生を院長として 1987 年 7 月 7 日に高根沢町光陽台に開院しました。2001 年、私は当時当院の理事長であった父の逝去をきっかけに入職しております。2005 年、院長に就任しました。外来は、非常勤で循環器・内分泌・呼吸器・アレルギー・消化器・一般内科・外科・整形外科の先生方にご診療をいただいております。入院は、時代の流れとともに急性期対応は困難となり、2006 年には 1 フロアのすべてを医療型療養病床に変更しています。常勤医が私 1 名となったのもこの頃からです。

この 25 年間には他の医療機関同様に、震災の被害や病棟コロナクラスター感染なども経験しました。患者さんご家族もそうですが、私たちにも辛い経験でした。厳しい状況の中、スタッフの適切な対応に感謝することが多々ありました。病院の体制の変更を余儀なくされてきましたが適宜対応する事により、スタッフと共に職場である病院を存続させております。

◆猫の患者さん

氏家皮膚科クリニック 宮崎 達也(さくら市)

ある日、手を診てほしいという若い女性が受診された。肉球が荒れて薬が欲しいとのこと。診療後、猫の毛が落ちており、掃除しながら看護師さんが怪訝そうな顔で呟いた。「今の患者さん肉球を診てほしいと言ってましたよね。」そういえば何となく猫に似ていた。近所に犬猫病院があり、猫が間違っ受診したのか。いやいや宮沢賢治の小説じゃあるまいし。きっと飼い猫の毛が服についていたのだろう。猫自慢という TV 番組で紹介される飼い主の顔が、猫に似ていることが多い気がする。四六時中好きな猫といると何となく似てくるのかもしれない。そして自分の手をうっかり「肉球」と言ってしまうのだろう。そんなことを思っていたら、今度は、前足を診てほしいという若い女性が受診した。まさか今後、後ろ足を診てほしいという患者さんは、さすがに来ないだろうと思うが？

◆新規開院しました (5/8)

にいたに内科・糖尿病クリニック

高根沢町宝石台 4-1-16

Tel 028-611-3414

この度、高根沢町宝石台に、にいたに内科・糖尿病クリニックを開院いたしました。これまで獨協

医科大学病院や那須赤十字病院等で、糖尿病・甲状腺疾患を中心に診療を行って参りました。郡市医師会の先生方のお力添えを頂きながら地域貢献出来るよう頑張っております。何卒よろしくお願い致します。

院長 二井谷 隆文

◆事務所のメンバーが変わりました



丸山 充博 事務長

早く業務内容を覚え、少しでもお役にたてるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



八島 未佳

正確な事務を心掛けていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。